

VIDEO PROJECTOR LIFTS

Scissor Lift

ビデオプロジェクターリフト

PLTX 430/530/640/750/860

取扱説明書



お客様へ

- このたびは、Draper社製ビデオプロジェクターリフトをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

工事店様へ

- 設置工事が終わりましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

目 次

安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
寸法図、仕様、付属品	5
スイッチケーブルの結線と接続	6
プロジェクター台の調整	7
機械式リミットの調整、ディレイ機能	8
操作方法、投影位置の調整	9
点検・記録	10

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる方やほかの人への危害と財産への損害を未然に防止し、正しく安全にお使いいただくために重要な内容を次のように説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり記載事項をお守りください。記載事項を守らないことにより生じた損害について当社は一切責任を負いません。

■表示内容を守らずに誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守り頂く内容を次の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」を示します。
	「必ず実施していただくこと」を示します。

⚠ 警告

 取り付けなどの設置工事は工事専門業者またはご購入先に依頼してください。

 予め、取り付け場所の強度が本製品とプロジェクターを合わせた重量に十分耐えられる事を確認してください。取り付け強度が不足している場合は、十分な強度を有するよう適切な処置を施した上で取り付けを行ってください。(別途セーフティワイヤ取付推奨)

 取り付け場所の構造、材質にあった工事を行い、基礎部分へ確実に固定してください。

 本製品やプロジェクターの取り扱いを考慮し取り付けは2名以上で行ってください。

 本製品が必ず水平になるように取り付けてください。

 屋外など風や雨が当たる場所、高温高湿、ほこりの多い場所、油煙、湯気、腐食性ガスが発生する場所に取り付けないでください。

 密閉された場所の場合は通気口を設けるなどの通気対策の上、設置してください。

 熱源となるところの付近にケーブルをわたさないでください。

 本製品の設置、清掃、プロジェクター取り付けなど作業する際は必ずコンセントを抜くなど通電していない状態にしてください。

 ケーブル、ワイヤ、ベルト、その他本体に損傷がある場合や異常を感じた際は、すぐに使用を中止して購入先までご連絡ください。

 禁止 本製品の最大積載重量(158kg)以内でご使用頂き、荷重超過しないでください。

 禁止 本製品の中に物を落としたり、置いたりしないでください。

 禁止 本製品にぶら下がったり乗ったりしないでください。

 接触禁止 リフト動作中は、指などを挟んで思わぬケガをする恐れがありますので、本体にふれたり手や顔などを近づけないでください。

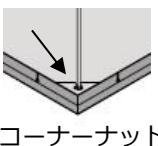
 分解禁止 お客様ご自身で分解・修理・改造・移設をしないでください。

⚠ 注意

- !** 設置後に動作確認する際は、ワイヤおよびセーフティーベルトのたわみを防ぐため 10kg 以上、最大積載重量以下の重りなどを載せてください。
- !** 本製品に物が接触して動作の妨げにならないようにしてください。
- !** 本製品の真下に、人が立ち入らないようにしてください。
- !** 上昇、降下の急激な切り替えや短い距離での昇降を繰り返さないでください。
- !** 投影位置、メンテナンス位置に降下後、または格納後に再動作させる際は、10 分以上間隔をあけてください。サーモセンサーが働き、動作しなくなることがあります。
- !** 初回電源投入時、停電復旧時、コンセントを入れ直した際は、必ず一度 Lift LV スイッチの△ UP を押してください。(初期設定 P.9) これを行わないと他のスイッチが有効になりません。
- !** 使用後はリフトを必ず格納し、リフトを下した状態で放置しないでください。

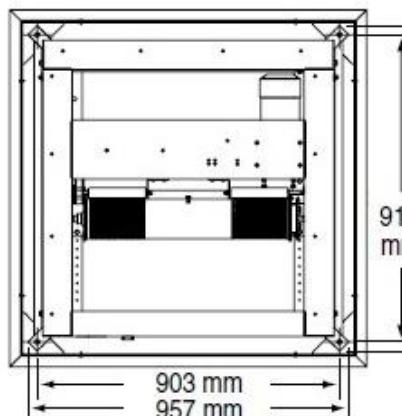
使用上のご注意

- 本製品をプロジェクター昇降以外の用途で使用しないでください。
- 付属品、メーカーオプション品以外は本製品に使用しないでください。
- 周囲温度-10℃～40℃の範囲外で使用しないでください。
- リフトが格納位置にあるときは、本製品の外部出力に接続したプロジェクターへの電源供給が切れますので、プロジェクターのクールダウンが終わってから格納してください。(ディレイオプションを使用しない場合)
- 本製品には寿命があります。使用条件、使用環境により異なりますが、設置後 10 年以上経過した場合や昇降回数が多くなると使用上や外観に異常がみられなくとも内部部品が劣化します。安全のため定期的な点検、交換を実施してください。
- 性能維持のため、少なくとも 1 年に一度または昇降 300 回で下記項目を実施してください。
- 停電や主電源が切れた場合でも、投影位置は記憶されていますので調整は不要です。(初期設定は再度必要)

点 檢	1	ワイヤに異常がないか	「ほつれ」、「ねじれ」、「キンク（くせ）」、「たるみ」「素線のほころび、切れ」
	2	ドライブチェーン、ギアに異常がないか	破損、錆、固着、チェーンのたるみ
	3	シザーアーム部（可動部）のナイロンナットに緩みがないか	緩んでいる場合は、ワッシャーとの隙間がなくなる程度に締め付けする（締め付け過ぎると動作不良となり破損の原因となるため）
	4	リフティングケーブルバー、プロジェクター取り付けネジ、ナット類に緩みがないか	緩みがあれば締め付ける
	5	天井に固定している部分、ボトムパン、クロージヤーパネル（オプション）のロッドやコーナーナット等の各部に緩みがないか	緩みがあれば締め付ける  コーナーナット
動 作 点 檢	6	降 下 ▽DOWN ボタンを押して正常に降下すること	異常なく降下すること
	7	自動停止 投影位置で停止すること（モーター音がしなくなる）	モーターが止まること
	8	上 昇 △UP ボタンを押して上昇し格納した状態で停止すること（モーター音がしなくなる）	異常なく上昇し、モーターが止まること
	9	停 止 上昇降下時に、□停止ボタンを押して停止すること	モーターが止まること
	10	そ の 他 モーター音、動作に異常がないか	異音、動作に異常がないこと

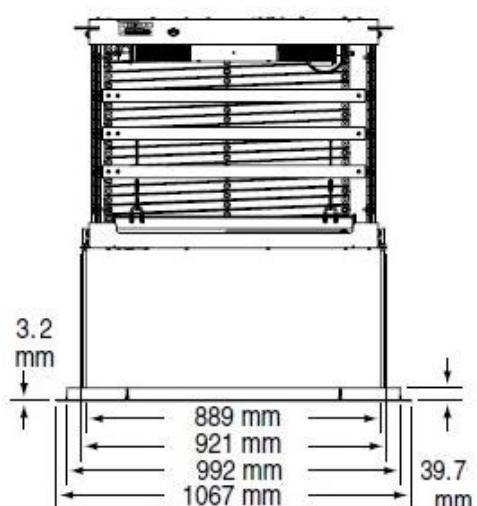
点検、動作確認の結果、異常がみられた場合は、使用を中止して購入先までご連絡ください。

寸法図

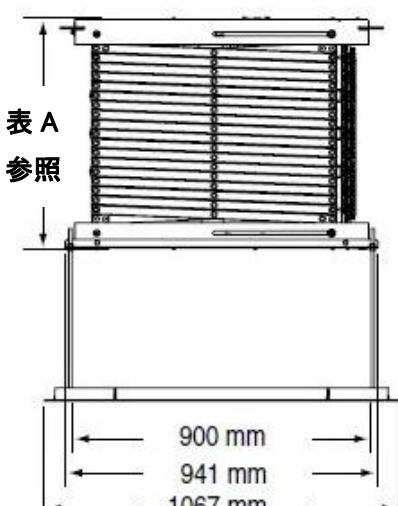


上面

型番	リフト長さ(m m)		本体重量(kg)
	収納時	最長時	
PLTX430	420	4320	104
PLTX530	470	5380	118
PLTX640	530	6480	125
PLTX750	600	7540	131
PLTX860	650	8660	137



正面



側面

仕様

最大積載量	最大積載サイズ	昇降速度(最大積載時)
158kg	889×889 (mm)	約 1.8m/分

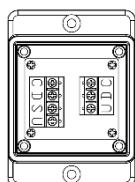
電圧	周波数	消費電力	外部出力
115V	60Hz	3.93A	7A

付属品

Lift LV スイッチ
(4心線 壁スイッチ)



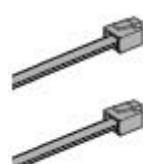
3心線 → 4心線
スイッチ配線変換器



メンテナンス用
キースイッチ



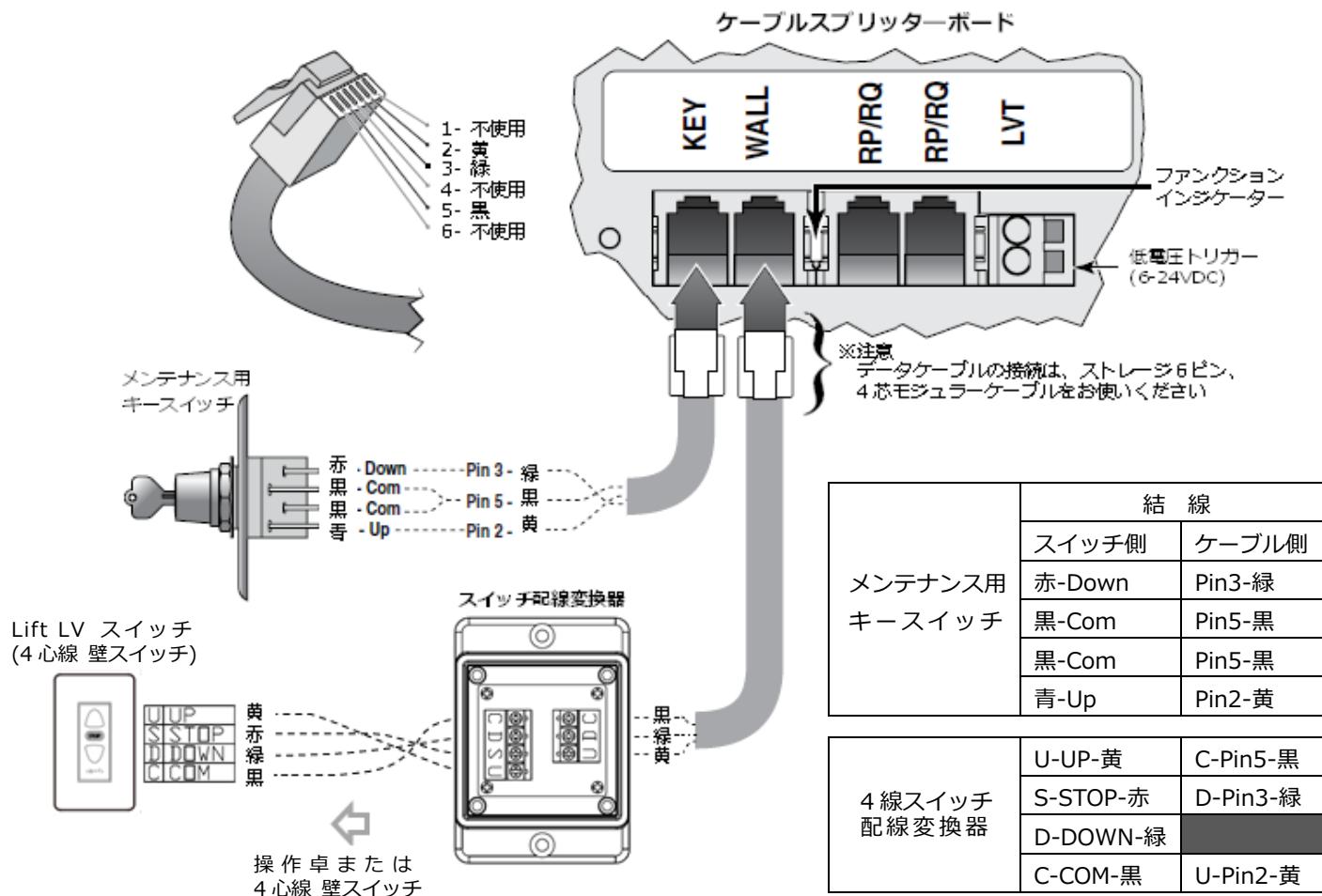
モジュラーケーブル 2本



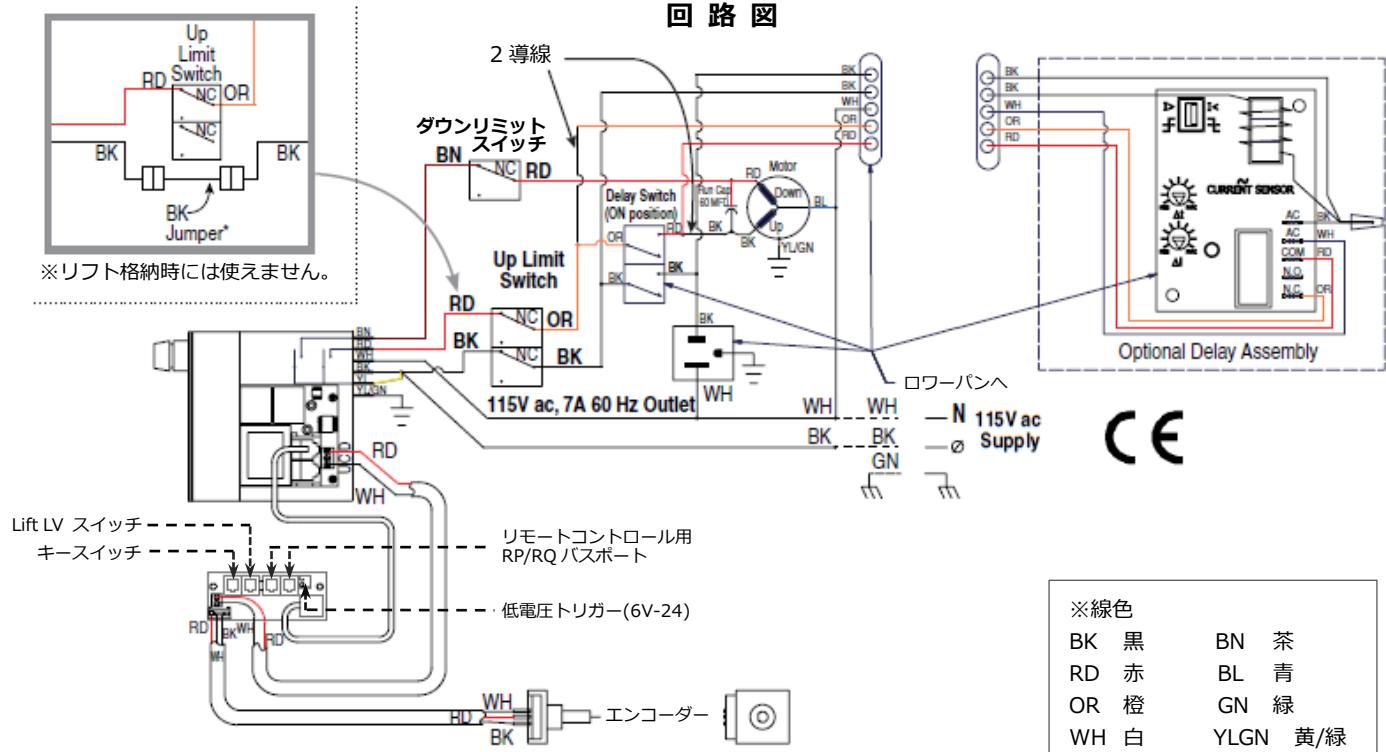
スイッチケーブルの結線と接続

■下記図を参照し、結線してください

- ① メンテナンス用キースイッチ・・・モジュラーケーブルをケーブルスプリッターボードの「KEY」へ接続
- ② スイッチ配線変換器・・・モジュラーケーブルをケーブルスプリッターボードの「WALL」へ接続



回路図



プロジェクター台の調整

■プロジェクター台の位置（重心）を調整して水平にする

プロジェクター台は前後に動かすことができますので、位置（重心）を調整します。

メンテナンス位置まで降下させ、下記の手順で調整して水平になるようにしてください。

一次調整

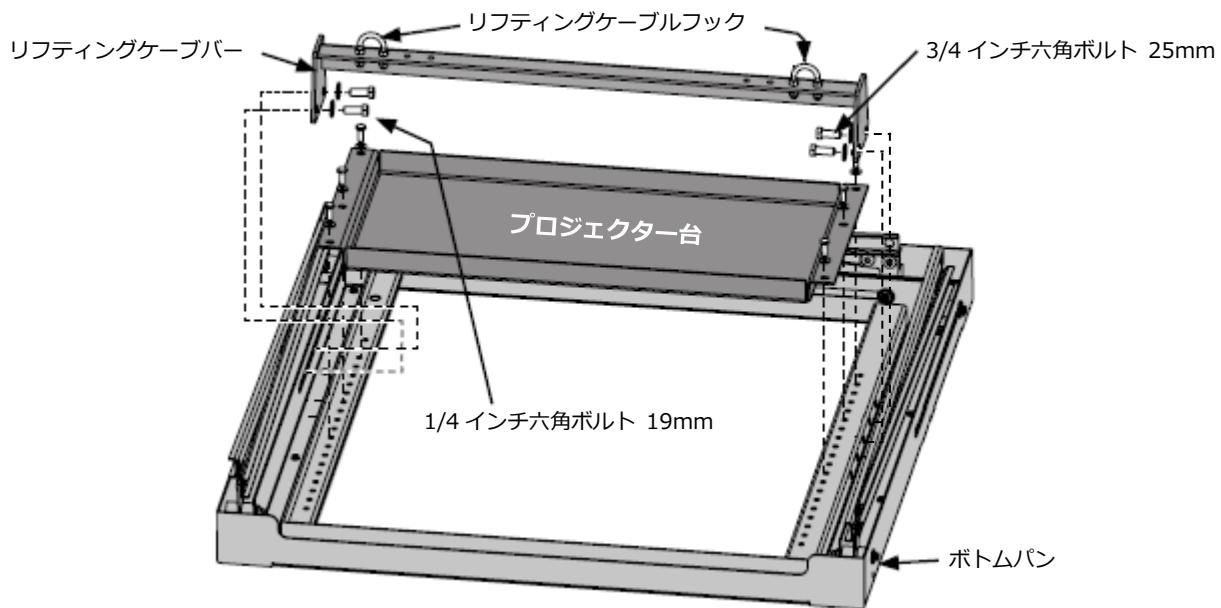
- ① ボトムパンがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ② プロジェクター台を固定しているネジを外します。
- ③ プロジェクター台を前/後にスライドさせて水平になるよう調整します。
- ④ ②で外したネジを取り付けて確実に固定してください。

二次調整（上記で調整しきれない場合）

ボトムパンが水平かどうかを確認し、一次調整で水平に出来ない場合は二次調整を合わせて行います。

※作業は必ず3人以上で行ってください。

- ① ボトムパンがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ② リフティングケーブルバーのボトムパンに固定しているネジを外します。
※この時、ボトムパンが落下しないよう調整する人とは別の人気が確実に保持してください。（2人以上）
- ③ リフティングケーブルバーを前/後にスライドさせて水平になる方へずらします。
- ④ ②で外したネジを取り付けて、確実に固定してください。
- ⑤ 傾き状態によっては再度一次調整を行ってください。



警告

安全のため作業者以外、リフト下付近へ絶対に立ち入らないでください。



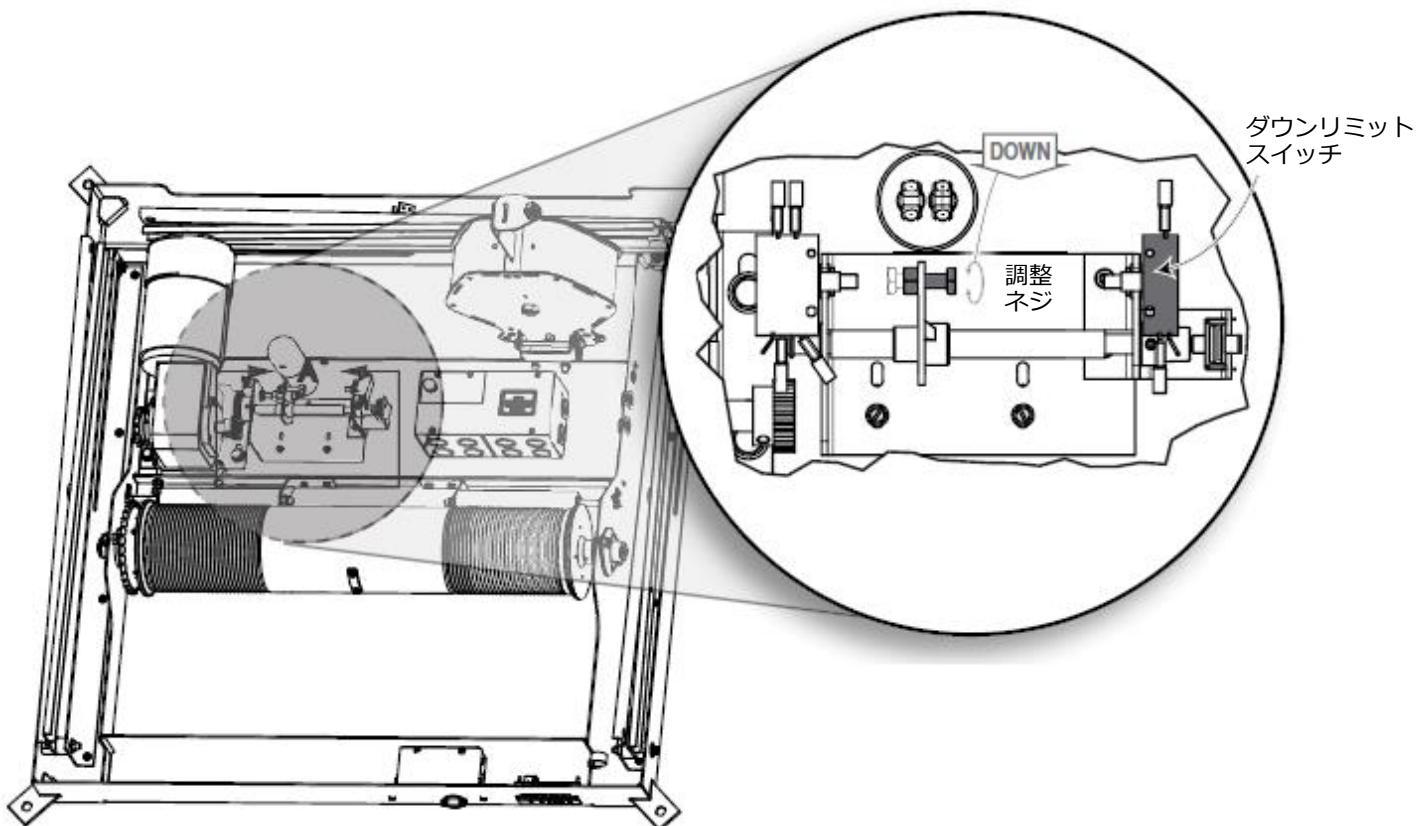
ボトムパンの傾きが必ず7度（角度）以下になるように調整してください。

機械式ダウンリミットの調整

■出荷時に設定されたダウンリミット（下限位置）は、ダウンリミットスイッチ脇のネジを回すことによって調整できます。

調整方法：

- 下限位置延長 - ネジをしめると延長
- 下限位置縮小 - ネジをゆるめると縮小

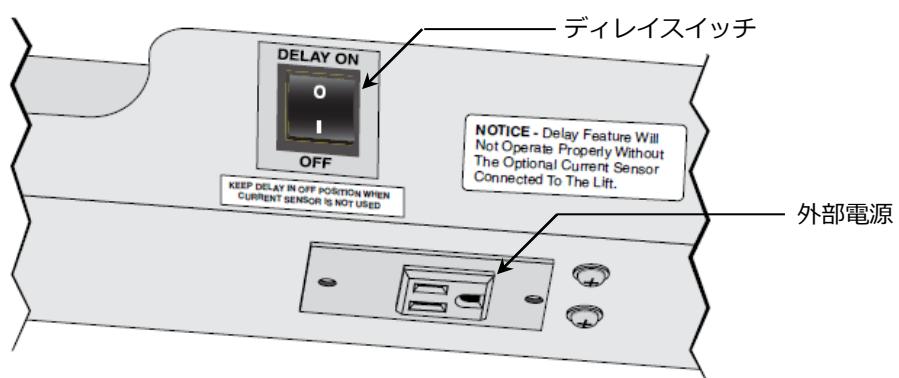


ディレイ機能 (この機能を有効にする場合は、オプションのセンサーを追加する必要があります)

■ディレイスイッチ

スイッチを ON にすることで通常の動作に時間差（遅れ）を加えて動作します。

※投影位置を調整する際は、このスイッチを OFF にしてから行ってください。(投影位置調整：P9-4.を参照)



ディレイ機能を使用しない場合は、このスイッチを必ず OFF にしてください。
オプションのセンサーを追加せずに ON にすると本製品が正しく動作しなくなります。

操作方法

1 初期設定を行う

- ① 取り付けが完了して通電状態になったら、最初に Lift LV スイッチの △ UP を押します。(操作卓も同様)
- ② ホームポジション(格納状態のリフト位置)が記憶され、全てのスイッチ操作が有効になります。
(リフトが降りている場合はリフトが格納され、ホームポジションを記憶します)



初回電源投入時、停電復旧時、コンセントを入れ直した際は、必ず初期設定を実施してください。
これを行わないと全てのスイッチが有効にならず使用できません。

2 投影位置の呼び出し (Lift LV スイッチの操作)

- ① ▽ DOWN を押すとリフトが投影位置(出荷時設定位置)まで降下します。
- ② □ STOP を押すとリフトの動作が停止します。
- ③ △ UP を押すとリフトが上昇して格納されます。

Lift LV
スイッチ
(4 心線)



- | | |
|---------|-------------|
| △ | UP (格納) |
| S T O P | 停止 |
| ▽ | DOWN (投影位置) |



リフトが投影位置より下側にある場合、Lift LV スイッチで昇降することはできません。
キースイッチで格納位置まで一旦戻してから操作してください。

3 プロジェクターメンテナンス位置の呼び出し (メンテナンス用キースイッチの操作)

- ① キーを DOWN (右) に回し続けてリフトをメンテナンス可能な位置まで降下します。
- ② メンテナンス後は、キーを UP(左) に回し続けてリフトを格納してください。

メンテナンス用
キースイッチ



- | | |
|------------|-------------|
| U P (左) | 格納位置へ戻る |
| O F F (中央) | 停止 |
| DOW N (右) | メンテナンスポジション |



キースイッチ操作は UP (左) または DOWN (右) にキーを回している間のみ動作します。
キーから手を放すと OFF (中央) に戻ります。

4 投影位置 の調整 (出荷時設定位置 : 下記の手順で投影位置を調節することができます)

- ① あらかじめディレイスイッチが OFF になっていることを確認後、リフトが格納された状態で Lift LV スイッチの ▽DOWN を押して、リフトを投影位置にします。

※リフトが投影位置以外にある場合は調整モードにすることできません。
※ディレイ機能を使用している場合でも、ディレイスイッチは調整前に必ず OFF にしてください。(P8 ディレイ機能)
- ② キースイッチを UP(左) へ回し続け、リフトが上に動いたら戻します。これにより調整モードとなり投影位置がリセットされます。この間の Lift LV スイッチは△UP・▽DOWN を押している間のみ動作します。

※調整モード中は、新しい投影位置を設定するまで「キースイッチ」の昇降操作は無効になります。
- ③ Lift LV スイッチで任意の投影位置までリフトを移動します。
- ④ キースイッチを DOWN (右) へ回し続けるとリフトが短く上昇、2回降下したあと、設定した投影位置に移動し設定が完了したことを知らせます。キースイッチを戻して調整を終了します。

点検・記録

備 考

輸入販売元：



株式会社キクチ科学研究所 <http://kikuchi-screen.co.jp/>

本 社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35 TEL 03-3952-5131 (代)

大阪 営 業 所 〒556-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2 四ツ橋新興ビル 10F B 号 TEL 06-6567-9035 (代)

YD031720